

7月

# はつらつ 尾久六っ子!



全校

## なかよし班ロング集会・なかよし班給食

本校では1年生から6年生の縦割り班によるなかよし班活動を行っています。高学年のなかよし班委員会の子供たちが班長になり、一緒に遊んだり、給食を食べたりして交流しています。

6月12日(木)は今年度1回目のロング集会で、自己紹介をしてから、それぞれの班が工夫した遊びをしました。普段、クラスの中ではおとなしい子もリーダーになると、「どうしたら1年生から6年生まで楽しんでもらえるか」「どのように話したらみんなに伝わるか」と、一生懸命です。その気持ちが伝わるのか、ハンカチ落とし、だるまさんがころんだ、椅子取りゲームなどのシンプルな遊びを、みんなで和気藹々と楽しんでいます。

尾久六小の子供たちが他の学年と仲良く、周りに優しく接することができるのは、なかよし班活動と登校班によるところが大きいと思います。これからも大切にしていきたい活動です。



1年

## ～初めてのプール～

1年生はプールに入るために、事前に教室で水着に着替える練習をしました。持ち物をひとつひとつ確認をし、着替える順番を覚え、なるべく早く着替える練習を行いました。また、人数を確認するために行うパディの練習も行いました。二人一組で手をつなぎ、元気よく番号を言います。どんなことにも一生懸命な1年生。準備はばっちりです。

そして、迎えたプール初日。2年生のお手本を見ながら、パディを行い、シャワーをあびて、いざ、水の中へ。水に慣れるために水中で歩いたり、鬼ごっこをしました。プールからあがった子供たちは「楽しかった!」と嬉しそうに話してくれました。これから夏本番を向かえますが、安全面に十分に配慮しながら、プールが好きになるようにしていきたいと思います。



2年

## ～とことまわくわくまちたんけん～

2年生は生活科で「まちたんけん」を取り上げ、自分たちが住んでいるこの町の施設やそこで生活している人々のことを調べていきます。地域には子ども達のお気に入りの場所があり、すてきな人々が住んでいます。



こうしたことにくり返し関わりをもちながら、ふだんは気付いていない町のすばらしさを発見させていきたいものです。調べたことは児童同士で伝え合うことや、1年生や保護者に伝えることを通して、この学習のまとめをしたいと考えています。



3年

## 荒川区内めぐりに行ってきました!

3年生の社会科は「わたしたちのまち」というテーマで学習を進めています。自分の住む尾久のまちを調べ、荒川区全体に学習の場を広げてきました。

そして6月24日(火)に区内めぐりに行ってきました。「区役所」と「荒川ふるさと文化館」では係の方に案内をして頂き、詳しい説明を聞きながらいつもは入ることが出来ない部屋に入らせてもらい、荒川区の事をいろいろ教えてもらいました。車窓からは尾久のまちとは違ったまちの様子をみたり、日暮里から西日暮里まで諏訪台を歩き、土地の高低差を実感したりしながら楽しく学習してきました。

地図や写真で見ていた荒川区の様子でしたが、実感を伴った学習に真剣に取り組んでいる子供達の様子に、荒川区への愛着をととも感じました。



4年

## ～ごみのゆくえ～

4年生の社会では、ごみのゆくえについて学習を進めています。6月3日にはごみ収集車をよんで、どのようにゴミが回収されるのかを学習しました。ごみのゆくえについて詳しく知るために、清掃工場の見学、最終処分場の見学を予定しています。清掃工場では、燃やすごみがどのような工程を経て、最終処分場に到達するのかを学習します。学習を進めていくうちに、いろいろな疑問が出てきます。「スラグってなんだろう?」「熱をどのように利用しているのかな?」「清掃工場の人は何を願っているのだろうか?」このような疑問は学習を意欲的に進める原動力になります。しっかり学習を進めて、ごみ問題を自分たちの生活に結びつけて欲しいと思います。



5年

## 「おはようございます」思いをこめてあいさつ運動

先月は2組、今月は1組が朝のあいさつ運動を担当しました。少し早目に登校して、全校生が登校してくるのを待ちます。その間は、「あいさつを返してくれるかな。」とドキドキした表情です。いざ、集団登校が始まりあいさつを始めると、一生懸命に声をかけていました。最後の反省会で感想を聞いてみると、「大きな声であいさつしていたら、気持ちがよくなってきた。」「1・2年生が大きな声であいさつを返してくれた嬉しかった!」という声があがってきました。一方で、「もっとたくさんあいさつが返ってくるといいのにな」という意見も。この体験から、自分たちの学校にあいさつを増やし素敵な学校にしていきたいと考える事ができたようでした。



6年

## 工夫して、「積み木パズル」を作りました!

図工では、電動のこぎりを使って、パズルを作っています。昨年度は展覧会で「シルエット」という題名で電動のこぎりを使っているので、昨年度の技能を生かした学習です。電動のこぎり、考えながら切り抜いた一つ一つのピースに色を付けていくと、一つの物語やテーマが連想されます。完成すると色鮮やかなオリジナルパズルができるのではないかと今から楽しみです。

6年生にもなると、このような作品作りでは1人1人の個性がより強く表れます。工夫したところや、頑張ったことを話しながら、完成したパズルと一緒に楽しみたいと思います。

